



個人質問 (2013年6月21日)
山陽新聞に掲載されました。

■ 市長、進退表明

6月11日に開会しました6月議会は、高谷茂男市長から「次の市長選挙には出ない」という表明があり、議会では「やっぱり、当然」という感じでした。

■ 下市このみ個人質問

私は、監査委員で質問を自粛していたため、2年ぶりの個人質問です。

1、ごみの減量と資源化について

平成21年のごみ有料化から5年、平成23年には一度ごみ量が増えるという状況になっています。ごみの減量と資源化のために容器包装リサイクルと小型家電リサイクルに積極的に取り組むべきだと提案しました。

容器包装リサイクルとは、家庭から出るごみの6割を占める容器包装廃棄物（商品を入れるもの（袋を含む）や商品を包むもので、不用となるプラスチック製の容器や包装のこと）を分別回収し、資源として有効利用することです。答弁は、「容器包装をリサイクルするには再利用コストや環境負荷が低減されるリサイクル方法が確立していない。リサイクル技術の動向を見る。」ということでした。

小型家電リサイクルとは、携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機、電話機などの小型家電製品を自治体や認定業者が回収し、その中に含まれる金属をリサイクルするというものです。答弁は、「現在は東部リサイクルプラザのみで、不燃ごみとして回収してきたごみの中から金属を選別しており、当面はイベントでの回収ボックスの設置などで回収する」ということですが、ゴミステーションで小型家電を回収すれば、資源化が進むのではないかと考えます。

2、子育て支援について

妊婦検診について

妊婦検診の公費負担は、平成21年2月27日厚生労

働省の通達により14回に拡充されました。これは、少子化対策であり、検診費用を気にせず、安心安全な出産ができることと、経済的な理由から検診を受けずに病院に駆け込む「飛び込み出産」を防止するためです。

岡山市では、医療機関では1回5040円まで、助産院では1回2700円まで助成しています。助産院でも助成金を1回5040円までにすべきではないかとの質問に「定期的な見直しの中で検討する」ととどまりました。助産院にかかる妊婦さんの負担は早く是正すべきです。

放課後児童クラブについて

放課後児童クラブについては、山陽新聞（2013.6.22付）で報道されたとおり、子ども子育て関連3法の成立で、2015年度から放課後児童クラブの実施主体が市町村となるを受け、来年度中の条例制定や子ども・子育て会議の公募委員を入れることなど前向きな答弁がありました。

現在、放課後児童クラブは、保護者の負担金と岡山市からの補助金で地域の運営委員会によって運営されています。各クラブによって運営にばらつきがあり、これからも待機児問題も含め、子どもたちが安心して過ごせるよう改善を求めます。

通級指導教室について

通級指導教室とは 通常学級に在籍している幼児児童生徒が、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、障がいの状態や学習・生活上の困難などに応じた個別の指導を受ける教室のことです。これまでの状況や現状の課題への質問に対し、「年々該当の生徒が増えており、教室の新設や増加を県に要望していきたい」という答弁でした。きめ細やかな対応が一層求められると感じ、今後の取り組みを期待します。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ 6月11日(火)～28日(金) 6月定例会市議会開会中
- ▼ 7月16日(火) まちづくり～おしゃべりネット♪
10:00～12:00 下市このみ事務所
- ▼ 8月6日(火) 映画鑑賞会
10:00～12:00 下市このみ事務所